

特別活動（ホームルーム）指導案

令和元年10月17日（木）5・6校時（13:35～15:25）1年・電子機械科 視聴覚室
指導者 坂巻 康夫

1 題材名 「自分の役割を果たすことについて考える」

2 題材観（生徒の実態を含む）

本題材は、高等学校学習指導要領第5章特別活動〔ホームルーム活動〕2内容（2）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア「自他の個性の理解と尊重, よりよい人間関係の形成」に当たるものである。

研究協力校はくくり募集のため、入学した後に学科を決定する。具体的には、機械科、電子機械科、電気科の各学科での学習内容を知ってから、自分の特性や興味、将来の在るべき姿を考え、9月に学科を決定している。専門教科の授業は各科ごとに分かれて、10月から行っている。専門教科での授業はクラス関係なく集まり、会話をしたことのない生徒もいるため、人間関係が深くなっているとは言い難い。

平成19年1月30日に出された中央教育審議会答申「次代を担う自立した青少年の育成に向けて(答申)」において、青少年の人間関係の希薄さや他人に共感して思いやる心の弱さなどが指摘されている。人間関係を形成する力や自己表現力、他者への思いやり、正義感、連帯感や協力心などを育む取組を積極的に進めていく必要があるとされている。

以上のことから、他者と協働で活動することを通して、他者の価値観の受容や集団の中での行動の仕方を考え、自己の果たすべき役割について理解することが今後の社会生活に役立つと考え、本題材を設定した。

3 研修との関わり

研修先である株式会社SUBARU（以下スバル）では、人事部人事課人材開発係に所属している。人材開発係では、主に自動車部門での人材教育プログラムの企画・運営を行っている。2018年に作成された、新中期経営ビジョンの中で、「スピード感をもって、柔軟に変化へ対応できる会社」を目指し、「一人一人の考える力」の強化、それを支える制度、仕組み、組織の変革を挙げ、各部門が相互に連携し達成する内容とした。企業として従業員に対して、今まで以上に他部門との関わりが重要であると訴え、コミュニケーション能力の開発を求めていることが分かる。また、自動車を生産するためには多くの工程があり、各工程で不具合を出さないために、担当する工程に責任をもつことを共通理解して仕事を行っている。

各工程で不具合を出さない、つまり、品質の維持は、個々の与えられた役割を果たすことで成り立っている。この責任を果たすための必要な能力に気付かせることで、今後の学校生活を充実したものにしたいと考える。

4 指導方針

- (1) グループワークを通して、他者と協働しながら自己の役割を担い、自らがどのように責任を果たさなければならないかを考え、気付かせる。
- (2) グループワークを通して、コミュニケーション能力や他者と関わることの大切さを理解させる。

5 評価規準（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評価規	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	他者に興味をもち、深く知ろうと積極的に取り組もうとしている。
-----	-----------------------	--------------------------------

準	集団の一員としての 思考・判断・実践	グループの中で、自分自身が果たすべきことを考え、集団として目的を達成するよう協力し活動している。	
	集団活動や生活についての知識・理解		
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動			
本時の活動	・グループワークを通して、自己の責任を果たすために必要なコミュニケーション能力について理解することができる。	・グループワークを通して、課題を達成するための手段について考え、それを実践し、集団の中で自己の役割を果たすために、どのような学校生活を送るのか目標を立てることができる。	・グループワーク ・発表体験 ・ワークシート
事後の活動	・社会人として必要な力について理解している。	・社会人として必要な力について考え、高校生活を過ごしている。	・事後アンケート

6 本時の学習指導

- (1) **目 標** 集団の中で自己の役割を果たすために、どのような学校生活を送るのか目標を立てることができる。
- (2) **準 備** 【教員】 パソコン、プロジェクタ、ワークシート、ストップウォッチ
【生徒】 筆記用具
- (3) **展 開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育との関わり)
<p><導入></p> <p>1 研修先企業について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修先企業について興味・関心をもつ。 ・仕事とは、様々な人の集まりであること、職種や求める人材などの紹介を聞く。 <p>— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社には様々な仕事がある。 ・入社しても、研修があり継続的な努力が必要である。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の紹介、研修内容について説明する。 ・企業には、複数の部門があり、互いに協力して企業活動が行われていることについて説明する。 ・企業が求める人材について説明する。

<p>2 本時の内容の説明を聞く。 ・本時のねらいを理解する。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を、企業が求める人材と関連付けて提示する。 ・本時の活動が、目標に関連することを説明する。 ・ワークシートに記入させる。
<p><展開></p> <p>3 グループに分かれる。 ・パズルの部品を配布し、全員で協力してパズルを完成させる。（5名/班）</p> <p>4 グループ内のメンバーについて知る。 ・自己紹介（コース、氏名、通学時間、星座など）を順番に行う。</p> <p>5 グループワーク「品質の熱気球」を行う。 ・役割を分担する（班長、書記、進行など）。 ・グループで話し合いながら優先順位を考えグループとしての意見をまとめる。</p> <p>6 グループワークの発表をする。 ・班での優先順位、決めた理由を発表する。</p> <p style="text-align: center;">休憩</p> <p>7 スバルで考える品質について説明を聞く。 ・スバルで考える品質（自工程保証）について知る。</p> <p>8 自工程保証について伝言ゲームを通じて体験する。 ・パターン1（伝言内容短め）をする。 ・前の人から聞いた内容を正しく次の人に伝言をする。</p> <p>9 伝言内容の確認をする。 ・最後の人聞いた内容をグループごとに発表をする。</p> <p>10 自己の役割を果たすための手段・方法を考える。 ・よかった点、悪かった点を話し合う。 ・改善方法の検討を行う。</p>	<p>5分</p> <p>5分</p> <p>20分</p> <p>10分</p> <p>10分</p> <p>5分</p> <p>12分</p> <p>3分</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・完成イラストを提示する。 ・円滑な活動になるように、普段、あまり関わりのない生徒同士の交流に対して支援する。 ・話す順番を指示する。 ・ワークシートに記入させる。 ・グループワークについて説明する。 ・自分の意見を1回以上発言するように、指示する。 ◎机間支援により声掛けをする。 ・数班の代表者に発表させる。 ・スバルで考える品質について説明する。 ・ルールを説明し、提示しておく。 ・ルールを守り、活動を行っているかを確認する。 ・数班に発表させる。 ・正解を提示する。 ・自分の役割・責任を果たすための手段・方法を考えさせる。 <p style="text-align: right;">（自己理解・自己管理能力の育成）</p>

<p>11 対策した伝言ゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パターン2（伝言内容長め）をする。 ・パターン2を振り返り、改善の有効性について話し合う。 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・数班に発表させる。 ・正解を提示する。
<p><まとめ></p> <p>12 集団の中で自己の役割を果たすために、どのような学校生活を送るのか目標を立てる。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような学校生活を送るのかについて目標を立て、宣言させる。 ◇集団の中で自己の役割を果たすために、どのような学校生活を送るのか目標を立てている。(ワークシート)